

大学ホームページ・マスコットキャラクターデザインコンテスト結果

本学のイメージアップと、ホームページの充実を目的として、ホームページとマスコットキャラクターの2部門についてデザインを募集したところ、学内外の多くの方から応募をいただきました。誌面を借りてお礼申し上げます。

応募作品を学生・教職員等の投票結果を含め審査した結果、右記のとおり決定し、11月22日(木)に表彰式を行いました。表彰式では、寺島正二郎広報委員長から賞状と賞金を手渡されました。

今後、最優秀賞の作品を基にホームページ、マスコットキャラクターを製作する予定です。

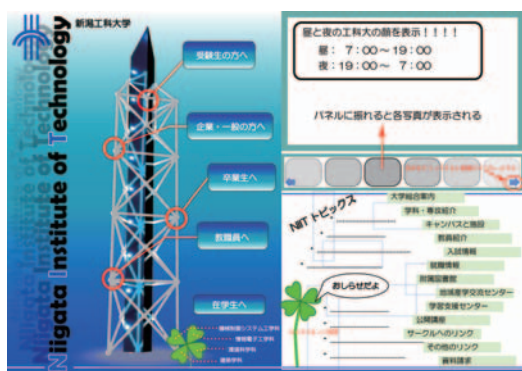
ホームページ部門で最優秀賞を受賞した櫻井さんは、「大学の新施設コンペティションに続き2度目の受賞で、大学に足跡が残せて嬉しいです」とコメントしていました。

ホームページ部門

- 最優秀賞 賞金 10万円
櫻井 希さん
(大学院 自然・社会環境システム工学専攻2年)
- 優秀賞 賞金 各1万円
和田 顕宏さん
(物質生物システム工学科卒業生)
- 土田 寛之さん
(情報電子工学科4年)
- 二平 隆祐さん
(情報電子工学科1年)

マスコットキャラクター部門

- 最優秀賞 賞金 5万円
星野雄太郎さん(新潟市中央区)
- 優秀賞 賞金 各1万円
吉田 克彦さん(新潟市中央区)
塩崎 歩美さん(大阪市生野区)
塩崎 栄一さん(大阪市生野区)



▲ホームページ部門最優秀作品(櫻井さんの作品)



▲マスコットキャラクター部門最優秀作品(星野さんの作品)



前列中央が櫻井さん

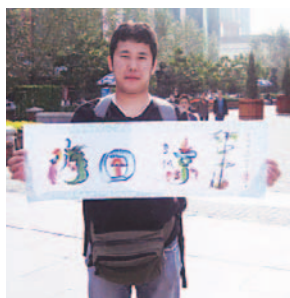
CONTENTS

- P1 大学ホームページ・マスコットキャラクターデザインコンテスト結果
- P2 課外海外研修手記①
- P3 課外海外研修手記②
哈爾濱(ハルビン)理工大学学術交流団が来学
- P4 野球部が全国大会出場!!
仮設住宅に憩いの場を提供
「にこラジィ」、FMピッカラにて放送中

- P5 電子情報通信学会信越支部大会で学生奨励賞を受賞
「9坪ハウスコンペ2007」のプロ部門で松井龍哉賞を受賞
モノ作り・人作り地域フォーラムin新潟にパネリストとして参加
高校生と共同で水力発電によるルビー作りに挑戦!

- P6 建築週間2007
第3回オープンキャンパス
- P7 青少年のための科学の祭典
平成19年度公開講座、全日程終了
- P8 新任教員紹介
入試情報
編集後記

課外海外研修手記①



機械制御システム工学科4年 内田 涼

(新潟県立高田南城高校出身)

今回、中国への海外研修に参加して、中国の長い歴史や、文化に触れることが出来ました。そして中華料理も満喫することができて、とても良い経験になりました。

今回は、新潟県中越沖地震の影響や訪問先の大学との調整などで日程が遅れてしまい、9月14日(金)～9月19日(水)までの6日間の旅でした。

まず1日目は新潟からハルビンへ行き、ハルビン市内を周った後、飛行機で北京に向かい、現地のガイドさんにホテルまで連れて行って貰いました。北京は高層ビルが林立し、中国の経済発展の凄さを実感することが出来ました。

2日目は定陵、万里の長城、京劇鑑賞に行きました。その中で最も印象に残ったのは、万里の長城です。それは想像していた以上に高い山の上にあり、男坂と女坂の2つに分かれていました。男坂は距離は短いのですが、傾斜が急で70～80度もあるかと思えるほどでした。女坂は男坂よりは緩やかで距離の長い坂でした。両方登ってみたかったのですが、見学時間が1時間程度でしたので、男坂だけ登ってきました。男坂を登るのはとても大変でしたが、途中や頂上に着いたときに見た景色は雄大で感激しました。

3日目は天安門広場、故宮、頤和園、雑技団公演に行きました。天安門広場では全国人民大会が行われる建物を見学しました。中華人民共和国の建国の父、毛沢東の大きな写真があり、テレビや教科書に載っていた通りだと思ひ不思議な気がしました。広場はとても広くて歩き疲れましたが、生で見る迫力は何とも言えませんでした。中国雑技団公演では、獅子舞に扮した人の玉乗りから始まり、軟体バランス、綱渡りアクロバット、布を使った空中浮遊など多くの演技がありましたが、凄かったのは最後に行われた自転車の演技でした。どの演技も素晴らしかったのですが何よりも1台の自転車に12人乗る演技は本当に驚きました。

その日は、寝台列車でハルビンまで行く予定で、北京駅に行きましたが、駅構内は東京のラッシュアワー以上の人ごみで、メンバーとはぐれないか心配でしたが、現地ガイドさんの案内のおかげで、無事に寝台列車に乗り込むことができました。生まれて初めての寝台列車で楽しみにしていたのですが、疲れもあり、すぐに寝てしまいました。もう少し雰囲気を楽しみたかったので、残念でした。

翌朝8時頃にハルビン駅に到着し4日目が始まりました。半日休憩した後、この研修旅行の最大の目的であるハルビン理工大学を訪問しました。この大学は敷地がとても広大で、南区と西区に分かれています。大学の立体模型を見せて貰ったときはあまりの大きさにビックリしました。そこでは、機械学科の工場を見学したり、日本語学科の講義を聴いたりして、

とても興味深い時間でした。大学見学後は、ハルビン理工大学日本語学科の学生との交流会及び歓迎パーティーに出席しました。交流会では、中国の学生達が積極的に話しかけてくれたので、すぐに打ち解けることができました。そこでは、様々な話をすることができました。日本と中国の学生生活の違うところ、中国でも日本のエンターテインメントが有名で、漫画やアニメ、音楽などの話題を話すことが出来ました。中国の学生が民族楽器の演奏をしてくれたり、X JAPANの曲を歌ってくれたりし、お返しに工科大の学生が「ふるさと」を合唱するなど、和やかな雰囲気での交流が行われました。その後の歓迎パーティーでも、中国の学生さんの見事な歌が披露されたり、引率の判澤先生が、日本代表として美声を披露されたりと大変盛り上がりました。日本と中国の間には、色々な問題もありますが、実際に若者同士で触れ合ってみると共通するところも多く、理解を深められたと思います。お互いの誤解や偏見を解消する意味でもこのような交流の機会をもっと盛んになればよいと思いました。

5日目はハルビン市内観光で、東北虎林園、太陽島公園、聖ソフィア大聖堂などを見学し、夜には本学主催の答礼パーティーを行いました。

最終日は朝早くに空港に向かうべくホテルを出発したのですが、メンバーの1人が帰りの航空券をホテルに忘れるというハプニングが起こりました。最悪帰国できなくなるという状況になりましたが、ガイドさんや先生方の素早い対応により、無事にメンバー全員帰国することができ、本当に良かったと思います。

帰国後、工科大に向かうバスの車内で、日本語の看板や透き通った空気(中国の空気は埃っぽい印象でした)や緑の風景を見て安心したのを覚えています。

こうして、私の大学生活最高の思い出と貴重な経験を与えてくれた中国研修旅行は終わりました。

最後に、一緒に旅行したメンバー、海外研修を企画・運営してくださった方々、このチャンスを与えてくれた家族、全ての方に感謝し、お礼を言いたいと思います。本当にありがとうございました。



課外海外研修手記②



機械制御システム工学科2年
今坂 賢介(写真右)

(新潟県立長岡工業高校出身)

今回の中国への海外研修は、突然起こった中越沖地震の影響から実施するか分からないとの連絡を最初に受けた時はがっかりしていましたが、参加学生の強い要望により実施が決定

しました。また、訪問先の大学の関係で日程が少し遅くなり、9月14日(金)～9月19日(水)の6日間の日程で行ってきました。

まず、ハルビン空港に到着して相手の言葉が解らない事と、初めての海外旅行ということで戸惑いました。また、空港を出てハルビン市内をバスで移動したときに、交通量の多さ、追い越し・割り込みの多さ、車の車間距離の狭さ、走っているすぐ横(道路内)を歩行者が歩いていることなどに驚き、ひやひやして研修日程の後半まで慣れることができませんでした。

初日は、ハルビン市内を軽く見学し、飛行機で北京へ向かうだけでしたが、夕食に「日本式ラーメン」を食べました。ラーメンは中国人向けに味付けしてあるためなのか、日本のラーメンとは違い独特な味がしました。

2日目、3日目は北京に滞在し、万里の長城・定陵・和平理賓館・天安門広場・故宮・頤和園などを訪れ、京劇観賞・雑技団公演を観賞してきました。この中でも良かったのは、万里の長城と雑技団公演です。万里の長城は、長い道がずっと続いているものだと思っていましたが、2,3ヵ所に分かれていることを知って驚きました。また、万里の長城には頂上まで登るための道が2つあり、90度はあるような急で距離の短い「男坂」と、緩やかで距離の長い「女坂」の2種類があり、私は男坂に挑戦し頂上まで周りの綺麗な景色を見ながら登ったのですが、頂上から降りる時が一番大変で、崖を降りているような感覚でした。雑技団公演は、獅子舞に扮した人の玉乗りから始まり、軟体バランス、十数人による自転車乗りなどがありましたが、中でも椅子を一脚一脚順番に積み上げ、その上に逆立ちするというものがとても凄かったです。積み上げて行き最終的に十数m、天井に届くのではないかとというところまで行きそこからまた一脚ず

つ下ろしながら降りてくるというもので、落ちるのではないかと、とてもハラハラさせられました。

そして北京から6人1キャビンの寝台列車に乗ってハルビンまで向かいましたが、全員が同じキャビンではなく、現地の人も一緒でした。また、早朝に寝台列車の車内販売でホットミルクを飲むこともでき、貴重な体験ができてよかったです。

4日目、5日目はハルビンに滞在し、太陽島公園・東北虎林園・中央大街などの見学、ハルビン理工大学訪問、交流会を行いました。東北虎林園では、本当に目と鼻の先に虎が自然に生活しており、また中国にいる虎、ライオンのほとんどがこの場所にいるとのことで、迫力があり面白かったです。ハルビン理工大学の学生との交流会では、なぜ日本語を勉強しているのか、日本の文化をどのくらい知っているかなど意見交換をしました。パーティーは2日間ともに夜に行われましたが、お酒が入っていることもあり、ハルビン理工大学の学生、王(ワン)さんと意気投合してしまうなど、とても楽しく、今回の旅で一番の思い出になりました。

最終日、日本に帰るため空港に向かう途中、航空券をホテルに忘れ、飛行機の出発時間に間に合わないというハプニングがありましたが、無事に飛行機の出発時刻に間に合い帰国することができ、本当に良かったと思います。また、新潟空港に到着したときに、無事に戻ってこれたという安心感と感動がありました。

全体を通して、来年オリンピックが開催されるということもあり、街並みに工事中のところが多々見られ少し残念でした。また、6日間中華料理をこれでもかというくらい堪能したので、日本食がとても恋しくなりました。

最後に、今回一緒に行ってくださった判澤先生や伊藤先生、この海外研修を企画し、ご協力していただいた方々、たくさんの方に感謝しています。本当にありがとうございました。

[関連URL http://www.niit.ac.jp/topics/2007/20071005_01.html]



哈爾濱(ハルビン)理工大学学術交流団が来学

10月29日(月)～11月1日(木)に本学と学術交流に関する協定を結んでいる中国の哈爾濱理工大学から劉志新規律委員会副書記を団長とする学術交流団5名が来学しました。

29日(月)に学術交流懇談会、30日(火)に日中技術交流公開シンポジウムと学科別懇談会を実施し、両大学のさらなる交流に向けて活発な意見交換を行いました。

[関連URL http://www.niit.ac.jp/topics/2007/20071102_01.html]



野球部が全国大会出場!!

本学野球部が、新潟県大学軟式野球秋季リーグを8勝2敗の好成績で準優勝し、11月12日(月)から千葉県で開催された第28回東日本大学軟式野球選手権大会へ昨年に続き2年連続で出場しました。

大会では、東京六大学軟式野球秋季リーグ2位の慶応義塾大学と対戦し、惜しくも2対6で敗れ、初戦突破は来年に持ち越しとなりました。

野球部は、現在全日本大学軟式野球連盟に所属しており、新潟地区リーグ春季と秋季のリーグ戦に参加しています。



仮設住宅に憩いの場を提供

大学院工学研究科 自然・社会環境システム工学専攻2年の竹節俊介さん(長野県立中野実業高校出身)を中心とする学生約20人が、刈羽村の源土運動公園の仮設住宅にテント小屋を製作しました。

このテントは、今回の震災により仮設住宅での生活を余儀なくされた方々に利用してもらおうと製作したものです。



材料は地元の竹を使用して骨組みを造り、外を防災シートで覆ったもので、約1ヶ月かけて製作し、11月3日(土)に完成しました。

完成したテント小屋は仮設住宅で生活する方々の交流の場として利用されています。

〔関連URL http://www.niit.ac.jp/topics/2007/20071112_01.html〕



「にこラジィ」、FMピッカラにて放送中

柏崎のコミュニティFM放送局、FMピッカラ(76.3MHz)で、9月から学生による新コーナー「にこラジィ」を放送しています。

このコーナーは、学生広報スタッフの有志が大学生活やプライベートなことなどを紹介したり、時には大学の宣伝までやってしまう、何でもあり?のトーク番組です。

放送時間は、毎月第3木曜日の18時30分からの15分間、トワイライトステーションの中で放送しています。

番組には情報電子工学科1年の石川孝輔さん(山形県立鶴岡工業高校出身:写真左)と石沢和也さん(新潟県立長岡工業高校出身:写真右)の2人が出演し、同局の看板パーソナリティ・高橋裕美さんと息の合ったトークを繰り広げています。

※「にこラジィ」とは「新潟工科(大学)のラジオ」の略で、石川さんのネーミングによるものです。



〔関連URL http://www.niit.ac.jp/topics/2007/20071026_01.html〕

電子情報通信学会信越支部大会で学生奨励賞を受賞

大学院工学研究科 自然・社会環境システム工学専攻2年の木村淳さん(新潟県立巻工業高校出身)が、9月29日(土)に行われた電子情報通信学会信越支部大会において学生奨励賞を受賞しました。

この賞は、支部大会での発表内容が優れていることと学業成績が優秀である者に与えられる賞であり、「三次元動画像を用いた遠隔教育システム」に関する研究が評価されたものです。

〔関連URL http://www.niit.ac.jp/topics/2007/20071003_01.html〕



「9坪ハウスコンペ2007」のプロ部門で松井龍哉賞を受賞

12月6日(木)に東京都中央区銀座のTEPCO銀座館4Fギャラリーで「9坪ハウスコンペ2007」(主催:(株)コムデザイン)の結果発表が行われ、プロ部門で栗原一成非常勤講師、大学院工学研究科 自然・社会環境システム工学専攻2年の竹節俊介さん、建築学科4年の遠藤智也さん(新潟県立長岡工業高校出身)の3名の作品が松井龍哉賞を受賞しました。

他にも最優秀賞、優秀賞等があり、2,126作品ものエントリーの中からの受賞となりました。

〔関連URL <http://9tubohouse.com/model2007/index.html>〕



モノ作り・人作り地域フォーラムin新潟にパネリストとして参加

12月3日(月)に長岡市の長岡リリックホールで開催された「モノ作り・人作りフォーラムin新潟」(主催:(独)中小企業基盤整備機構関東支部、(株)新潟日報社、全国地方新聞社連合会)のパネルディスカッションに、大学院工学研究科 自然・社会環境システム工学専攻2年の志田貴之さん(新潟県立五泉高校出身)がパネリストとして参加しました。

志田さんは、モノ作りの未来をテーマに、他大学の学生や

新潟県内の中小企業経営者とともに「中小企業の魅力」、「企業が求める人材像」、「モノ作りの中小企業像」等についてディスカッションを行いました。

志田さんのコメント:モノ作りの魅力や中小企業の役割と現状について詳しく説明して頂き、とても勉強になりました。また今後、自分が技術者として社会に出るときには、ここで得たモノ作りの情熱を忘れず、仕事に取り組みたいと思います。

高校生と共同で水力発電によるルビー作りに挑戦!

9月23日(日)に山梨県都留市の家中川において小型水力発電を利用したルビー作りの実験が行われました。

地元の県立谷村工業高校が中心となったこの実験では、情報電子工学科の佐藤栄一准教授が電気系のシステム構築において協力をしました。

〔関連URL
http://www.niit.ac.jp/topics/2007/20070925_01.html
<http://blog.esato.jp/?eid=667678>〕



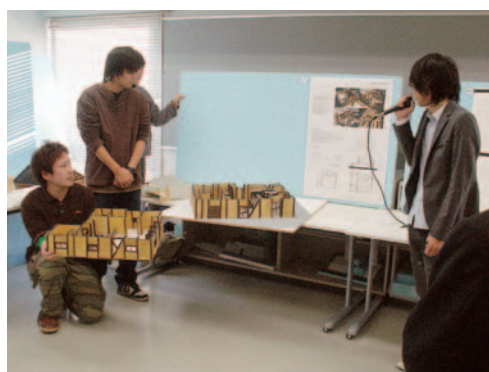
建築週間2007

建築学科が建築週間2007と題したイベントを実施し、11月17日(土)には学生の作品や発表を一般公開しました。

午前に大学院生による修士論文中間報告会、学部4年生による卒業設計中間報告会が行われ、午後からは、新潟県中越沖地震の解説と復興の取り組みに関する講演で、穂積秀雄教授が「中越沖地震の被害の様相と安全な住まいのために」、田口太郎准教授が「東本町二丁目・えんま通り商店街における復興まちづくり」と題してそれぞれ講演しました。イベントの最後には学部1～3年生による小林文英堂新社屋デザインコンペティションの合同講評会が行われました。



(関連URL http://www.niit.ac.jp/topics/2007/20071119_01.html)



第3回オープンキャンパス

9月30日(日)に第3回オープンキャンパスが行われました。

8月に予定していた第2回オープンキャンパスが中止となったこともあり、今回は、本学で最も大きいS1大講義室がいっぱいになる程の生徒、保護者にご参加いただきました。

午前中に大学紹介、入試説明、学内見学を行い、学生食堂での昼食をはさんで、午後からは希望の学科に分かれての模擬実験体験、父母向け講演のほか、個別相談、学内見学を行いました。

本学の学生も、模擬実験の補助、受付、見学の誘導などを行うなど、積極的に参加していました。

たくさんのご来場ありがとうございました。

(関連URL http://www.niit.ac.jp/topics/2007/20071002_01.html)



青少年のための科学の祭典

11月23日(金) 勤労感謝の日に今回で10回目となる「青少年のための科学の祭典2007柏崎刈羽大会」(主催:柏崎市教育委員会、柏崎市立教育センター、新潟工科大学ほか)が本学を会場に開催されました。開場前から多くの親子連れが訪れ、来場者は約1,500人にのぼり、テレビ局が取材に訪れるなど大盛況となりました。

実験ブースには、本学からも4ブース(機械制御システム工学科 佐伯暢人教授、情報電子工学科 佐藤栄一准教授、物質生物システム工学科 小野寺正幸准教授、竹園恵准教授)を出展し、子どもたちと楽しく実験を行いました。



また、この日は小学生ロボコンも同時に開催され、機械制御システム工学科の大金一二准教授の研究室とロボット研究部の学生が先生役となり指導にあたりました。

翌24日(土)、25日(日)は新潟市の新潟薬科大学において「青少年のための科学の祭典新潟県大会」(主催:新潟県ほか)が開催され、情報電子工学科の佐藤准教授が引き続き研究室の学生とともに出展しました。

[関連URL http://www.niit.ac.jp/topics/2007/20071123_02.html]



平成19年度公開講座、全日程終了

10月25日(木)に技術講座・講義編「豊かな長寿社会のつくりかた」が終了し、平成19年度公開講座は、全日程を終了しました。

この講座は、新潟県立看護大学との提携によるもので今年で4回目となります。同大学から吉山直樹教授、中野正春教授、栗生田友子教授を講師としてお迎えしたほか、同大学の公開講座「魅惑のスローライフ・スローエイジング」に本学の教員3名が講師として出向き相互協力をはかりました。

講師と受講者数、規定の回数を受講した修了者数は次のとおりでした。

★技術講座・講義編「豊かな長寿社会のつくりかた」

ー 新潟県立看護大学との提携プログラム ー

講師: [新潟工科大学] 斎藤 英一 教授、
村上 肇 教授、田口 太郎 准教授
[新潟県立看護大学] 吉山 直樹 教授、
中野 正春 教授、栗生田 友子 教授

9月20日～10月25日(全6回) 本学 S1講義室3ほか

受講者: 30名 修了者: 18名

また、地震のため延期となっていた、技術講座・実験編後期「3次元CADを使った機械製図と模型加工」は、平成20年度前期に開講することになりました。日程が決まり次第お

知らせします。

これからも、皆様に興味を持っていただけるようなテーマを取り上げていきますので、今後もよろしくお願いいたします。

[関連URL

http://www.niit.ac.jp/kouza/kouza_index.html

http://www.niit.ac.jp/topics/2007/20070531_01.html

http://www.niit.ac.jp/topics/2007/20070809_02.html]



新任教員紹介



物質生物システム工学科 助教
古 崎 広 志 『博士(理学)』

- 専 門：宇宙物理学
- 研究テーマ：拡がりを持つ物体の運動および関連する重力現象、非一様宇宙



物質生物システム工学科 助教
三 谷 健 一 『博士(理学)』

- 専 門：函数解析
- 研究テーマ：バナッハ空間のノルム構造とその応用
- 出 身 高 校：私立東京農業大学第二高等学校
- 学 歴：弘前大学理学部数学科、新潟大学大学院博士課程

- 出 身 高 校：大阪府立高津高等学校
- 学 歴：大阪市立大学理学部物理学科、同大学院後期博士課程
- 経 歴：大阪産業大学教養部非常勤講師
新潟工科大学学習支援センター教育担当講師
- 趣 味：旅
- コ メ ン ト：旅に出るのが好きなので、東北を制覇したいと思います。

- 経 歴：新潟大学工学部非常勤講師
新潟県立加茂病院附属看護専門学校非常勤講師
新潟県立新発田南高等学校非常勤講師
国際メディカル専門学校非常勤講師
新潟工科大学学習支援センター教育担当講師
- 趣 味：旅行・音楽鑑賞
- コ メ ン ト：通常は学習支援センター内で学習指導を中心に行っています。センターでは、講義で理解できなかった箇所などを個人又は集団に対して指導しています。また、勉強の仕方がわからないなど学習相談についても応じています。学生の皆さんと積極的に関わっていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

入 試 情 報

入試日程

- 一般前期A日程(2科目筆記試験)
 - 試験科目(必須:数学、選択:物理、化学、生物、英語から1科目)
 - 出願期間：1月7日(月)～25日(金)
 - 試 験 日：2月3日(日)
 - 合格発表：2月7日(木)
- 一般前期B日程(1科目筆記試験)
 - 試験科目(数学、物理、化学、生物から1科目)
 - 出願期間：2月8日(金)～18日(月)
 - 試 験 日：2月22日(金)
 - 合格発表：2月28日(木)
- 一般後期
 - 試験科目(口頭試問(数学、英語の基礎含む)、面接)
 - 出願期間：2月29日(金)～3月10日(月)
 - 試 験 日：3月13日(木)
 - 合格発表：3月14日(金)
- 大学入試センター試験利用A日程
 - ※個別学力試験は実施しません。

- 出願期間：1月21日(月)～2月6日(水)
- 合格発表：2月14日(木)
- 大学入試センター試験利用B日程
 - ※個別学力試験は実施しません。
 - 出願期間：2月29日(金)～3月10日(月)
 - 合格発表：3月14日(金)

特待生選抜

一般前期A日程、大学入試センター試験利用A日程入学試験の成績が特に優れた受験者(定員24名)に対し、初年度の前期授業料(440,000円)を免除します。AO、推薦入学試験の合格者も受験できます。

詳細については、下記までお問合せください。
 〒945-1195 新潟県柏崎市藤橋1719 入試広報課
 ☎0120-8188-40 FAX0257-22-8226
 E-mail nyuushi@adm.niit.ac.jp
 (関連URL http://www.niit.ac.jp/entrance/entrance_index.html)

編集 後記

いよいよ冬到来という今日この頃です。NHK大河ドラマの風林火山にGacktさんの上杉謙信が登場して以来毎回かかさず見るようになりました。今まで多くの方が謙信を演じていましたが、Gacktさんの謙信はまさしくといった感があります。柏崎由来の枇杷島城も登場したりして日曜日の午後8:00はテレビに釘付けです。皆さんはいかがですか?悲しいかなここ柏崎はほとんどPR活動していませんね。「どうなってるのー」と非柏崎市民のぼやきでした。(M.O.)

発行

新潟工科大学広報誌 第14号
 平成19年12月20日
 新潟工科大学広報委員会

新潟工科大学

〒945-1195 新潟県柏崎市藤橋1719番地
 TEL.0257-22-8111 (代表)
 FAX.0257-22-8112
 E-mail:soumu@adm.niit.ac.jp
 URL:<http://www.niit.ac.jp>